



社会福祉法人 聖音会

# 明日へ

第14号

平成28年3月31日発行

児童養護施設 鎌倉児童ホーム

(発行責任者 施設長 秦晴彦)

〒248-0017

神奈川県鎌倉市佐助1-6-6

電話 0467-22-0424

FAX 0467-22-1766

桜花の候、皆様はいかがお過ごしでいらっしゃいますか。

日頃から、当ホームの施設運営にご理解ご協力をいただいている関係者の皆さまに、心より御礼申し上げます。

平成27年度より、児童養護施設の職員配置が改善されました。児童4人につき職員1名の配置になりました。ただ、当ホームの増員幅は神奈川県の補助金減額で2名の減員があり、結果として3名の増員となりました。基本職員数は、定員80名を20名の職員でということになります(専門機能として、他に6名の加配はいただいております)。まだまだ、子どもたちひとりひとりの気持ちにこたえていくには、人手が足りているとは思えません。施設を出た後のアフターケアの充実が叫ばれていますが、施設にいる間にもっとしっかりと手をかけていかなければならないと強く感じています。

逗子市在住でいらした方より、施設を出た後の進学資金のためにと多額の遺贈金をいただきました。故人のご遺志を大切に、ご家族の方とも協力をさせていただきながら、子どもたちのために大切にに使わせていただきたいと思います。心より御礼申し上げます。

様々な方からご支援をいただきながらの施設運営になりますが、引き続き、ご支援をいただけますようお願い申し上げます。

鎌倉児童ホーム 施設長 秦 晴彦



「夏祭り」「あすなる交歓会」など、子どもたちと一緒にギター演奏する機会もたくさんあります。

## ボランティアさん大募集!

鎌倉児童ホームでは、ボランティアさんを大募集しております。

「日常生活全般」「家事全般」「1対1での個別学習」「子どもたちとの夕方の外遊び」など様々な形でのご協力が必要です。

これらの形式以外にも子どもたちが必要としていることは、たくさんあります。

よろしく願いいたします。

お問い合わせ

鎌倉児童ホーム(電話:0467-22-0424 E-mail:kamakura@seionkai.or.jp) 担当:山神まで

# 健やかに、麗しく、輝け！

3月5日に鎌倉児童ホームの卒園式が行われました。  
今年3月に高校を卒業した2名が鎌倉児童ホームから旅立ちます。  
1名の卒園生がインフルエンザに罹ってしまい、どうなるか心配ではありましたが、皆様の温かいサポートもあり、無事に式を終えることが出来ました。

当日は、これまでお世話になって来た、「ボランティアの方々」「学校の先生方」「児童相談所の方々」などに お集まり頂き、手紙等でメッセージも頂きました。

卒園生と生活をともにしてきた同じ家の子どもたちは「ビデオメッセージ」や「歌とダンス」を披露し、皆で楽しめる温かなひと時を過ごしました。

卒園生は、「マイクも持つと照れくさいんだけど・・・」と恥ずかしそうにしながらも、一人ずつ担当の職員や、今まで生活を共にしていた子どもたち、お世話になった方々に向けて、自分の言葉でメッセージを送っていました。

普段は照れくさくてなかなか素直に「ありがとう。」や「ごめんなさい。」を伝えるにくいものですが、子ども達が一生懸命に、今日までの思い出や、感謝の気持ちを述べようとする姿には、毎年、感動させられます。



卒園式中、卒園生の姿を見て、「私も〇年後は、高校卒業して鎌ホを出ていかないと行けないんだね・・・」と、寂しそうに呟く在園生がいました。

慣れ親しんだ場所から、巣立って行くのは、期待や憧れに溢れている半面、不安や戸惑いも同じようにあるのでしょう。



卒園し、鎌ホを巣立っていっても、二人と、鎌ホの関係性は変わりません。

何か話を聞いて欲しい時、辛い事が有った時、「あ、会いたいな。」と思った時。  
鎌ホは、今までと変わらずに、二人の“第2の家”であり続けます。

最後にある職員から、卒園生に向けた言葉を、紹介させていただきます。

“毎日の「いってらっしゃい。」は言えないけれど、いつでも「おかえり。」で迎えるよ。  
二人とも、「いってらっしゃい。」”

(高村)



## 「里親制度」を知っていますか？



社会が保護者にかわって子どもを養育や保護する仕組みを「社会的養護」といいます。社会的養護には‘施設養護’（児童福祉施設における養育）と‘家庭的養護’（家庭や家庭に近い形態における養育）があります。「里親」は家庭的養護にあたります。



親元で暮らせない事情のある子どもたちを、愛情と理解を持って家族の一員として温かく迎え入れて育ててくださる方を、児童福祉法では「里親」と言います。

里親制度は、子どもがほしい大人のための制度ではなく、育ての親を必要とする子どものための制度です。



家庭で生活することのできない子どもたちの9割以上は乳児院や児童養護施設で生活しています。施設には施設の役割・長所があり、施設での集団生活を必要とする子どもたちも多くいますが、里親制度により里親さんのところで生活することによる利点もあります。

- ☆特定の大人との愛着関係のもとで養育される。
- ☆里親家庭における日常の生活体験が将来家庭を築く際のモデルになる
- ☆身近な地域社会の中で社会性の獲得ができる …等



里親さんにはいくつかの活動のかたちがあります。

- 長期委託：子どもとの養子縁組をせず長期間の養育を目的とした委託
- 緊急一時保護：家庭での養育が一時的に困難となった子どもの養育を目的とした委託
- 三日里親：施設で生活する子どもの家庭体験を目的としたホームステイ



鎌倉児童ホームでは里親支援専門相談員を配置し、子どものケアの専門性、知識、情報などを活かして施設全体で地域の里親家庭をサポートしていきます。

三日里親として鎌倉の子どもと交流して下さっている里親さんがいます。月1～2回面会や外泊、夏休みなど長期の休みに数泊お泊まりをさせていただいたり、子どもの年齢や状況によって違いはありますが里親さん、関係機関、施設と連携をしながら交流をしていただいています。子どもが退園をした後里帰りの場所となったり、困ったこと嬉しいことがあったときに話を聞いてくださっている里親さんもうらっしゃいます。



里親さんは、地域社会の中で子どもを養育しています。地域社会で里親制度が理解されていないと里親さんにとっても子どもにとっても精神的負担となる場合もあります。一人でも多くの方が制度への理解を持ってくださることが里親家庭での養育の安定につながります。

<気軽にお問い合わせください>

- お住まいの地域所管の児童相談所
- 鎌倉児童ホーム

(里親支援専門相談員：宮崎)



facebook



いいね！

ランキング



いいね！

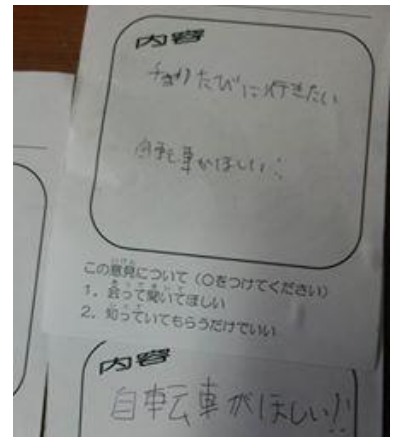
鎌倉児童ホームでは、近年、流行りの『facebook』にて、園の行事や子ども達の日常の様子、子どもの声などを職員が記して皆様に発信をしています。ご覧いただく皆様には、日頃から温かいコメントや「いいね！」を沢山いただき、勇気づけられております。本頁では、今年度の鎌倉児童ホームの facebook において、皆様に押しいただいた「いいね！」の数が多かった3つの記事についてご紹介したいと思います～！！ (佐々木)



## 1357 「いいね！」

「自転車のご寄付」(2015/7/30)

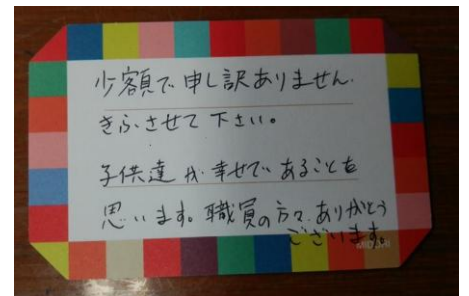
一つ目は、子ども達の「自転車が欲しい」という声に応えて、支援者の方より、新品の自転車を多数ご寄付いただきました事へのお礼の記事です。お陰様で、子ども達は一人1台ずつ自転車を所有することができ大喜び♪お買い物やサイクリング、チャリ旅など、毎日、様々な場面で活用させていただいております。本当にありがとうございました！



## 283 「いいね！」

「匿名でのご寄付金」(2015/6/27)

二つ目は、匿名の方より、ご寄付金をいただいた事へのお礼の記事です。このように、鎌倉児童ホームは、多くの方々からの温かいご支援によって、支えられております。匿名ということで、直接、感謝の気持ちをお伝えできないのが、非常に残念なのですが…その方が、Facebook を見て下さっていることを信じて、メッセージを載せさせていただいております。



## 168 「いいね！」

「上町ロケット佃航平 様よりクリスマスプレゼント」(2015/12/20)

そして最後の記事。クリスマス間近の夕方、インターフォンが鳴り、職員が玄関へ向かうと…そこには一つの紙袋が。中には、素敵なクリスマスプレゼントが入っていました♪ 中のお手紙には、「上町ロケット佃航平より」と書かれていましたが、こんな粋な計らいをして下さる方は、一体どのような方なのでしょう。毎年、名前を変えて届く素敵なクリスマスプレゼントに心あたためられています。



日頃よりご支援いただいております、全ての皆様に心より感謝申し上げます。

Kmhbook ページ | お知らせ | インサイト | 投稿ツール

お問い合わせ

いいね!

シェア | ...



鎌倉児童ホーム

福祉サービス

タイムライン | 基本データ | 写真 | レビュー | もっと見る

広告を出す

お気に入り

ニュースフィード

メッセージ

イベント

アプリ

ゲーム

友達を検索

スポット編集ツール

リンク

誕生日

友達

家族

大学


地元

鎌倉市地域

kmhbook ページ

ページ作成

卒園生、職員の方、ご協力  
ありがとうございました!  
4月から新しい生活、苦しい  
ことも含め、精一杯楽しんで  
下さい!



今回は、2人の卒園生と担当職員にインタビューしました!!

ズバリ、**今思っていること**を教えてください!!

R.T 3.5 19:00



いままでカマホにいたから環境がガラッと変わるけどRTはRTらしく自分のペースで頑張って早く新しい生活になれる! ←これ目標

いいね! コメントする シェアする

---

MioNe 3.5 19:20



私は今年新任で入りましたが、私のあだ名を付けてくれたのが彼女で、私はそれから他の子となじむことが出来ました。なので、生活が変わっても、彼女の人と関わるチカラ、人にやさしく出来る彼女のままでいて欲しいと思っています。

卒園おめでとう!

いいね! コメントする シェアする

---

rassy 3.5 19:40



自分が卒園、卒業するのは正直言ってあまり実感がないですw鎌ホを出て思うところは一人でちゃんとやっていけるだとか、ちゃんと暮らせるかが不安です。でも同時に楽しみでワクワクしてもあります。最後に、ここまで育ててくれたいろんな方々に感謝します。ありがとうございました。

読み込み中...

大人になったら覚えていないかもしれないけど、確かに存在した出来事の数々。それが・・・

# THE 日常

(構成 豊本)

## 願いを叶えておくれよ、クロッキー!!!

「クロッキー」をご存じの方も大勢、いらっしゃると思います。当ホームでの最もポピュラーなルールは「クロッキー（『黒地に黄色文字のナンバープレート』の事業用軽自動車）」を3台見た際に願いごとと他者には内緒で唱えると、願いごとがかなう。しかし、3台見るまでの間にタクシーを見てしまうと、『リセット』となり、1台目から数え直さなければならない!!!」ですが、一刻も早く願いごとを叶えたいとの思いからか、「ナンバープレートに『3』が書かれていたら、3台見つけたことと同じ効果がある」など、日々、独自のルールが進化し続けている様子です。子どもたちが実際にどのようなことを願っているのかは「内緒」なので、わかりませんが、『『お出かけしたい』とお願いしてたら、おでかけできた』などの喜びの報告もあります。

「世界征服」「現金1兆円欲しい」などと真剣(?)に願う子どももおりますが、「叶うわけないのに・・・」との声に負けないよう、「願い続けていれば、自分自身の姿が『理想とする姿』に近づいていくものである」と励ましております。



雨ニモマケズ ネガイマス

## 食育のきろく

当ホームでは根本栄養士を中心に「食育」にも力を入れております。年間食育推進計画をもとに、月に1度は検討の場を持ち、様々な取り組みを実践しており、先日、1冊の冊子にまとめられました。内容は「各家食育ワークシートと記録」「献立に関する配布資料」「What's 食育?」「各家夕食の記録」「食育の記録」などです。先日、この冊子をもとに各ブロックごとに振り返りを致しましたが、「せっかく、購入した製麺機をもっと、使用すべきであった」との後悔に満ちたコメントもあがっていたことをご報告させていただきます。



「うどん打ち」の様子を紹介ページです。子どもたちも楽しそうに眺めています!

## 編集後記

当ホームの子どもたちの口から「バウンダリー」という言葉が目立つようになってきました。「バウンダリー」とは「境界線」と訳され、当ホームでは子どもたちに「『これは私のものです。どうか、そのことを大切にしてください』ということの意味している」と説明しております。この取り組みは今年度から開始したばかりですので、まずは、「バウンダリー」という言葉を身近に感じていくことが大切です。年少児には自他の周囲をフラフープで囲みながら、「人や物は目に見えない線で囲まれている。相手の境界線から先に手を伸ばす際には相手の気持ちを考えなければならない。」と説明しております。これらの取り組みが功をなしてか、ケンカが起きるたびに「バウンダリーだぞ!!!」との叫び声が響き渡るほど浸透しており、喜ばしいことでもありますが、「境界線」との関わりの有無に限らず、乱発されてしまっているのが悩ましいものです。「目には見えなくても忘れてはならない大切なもの」は、もう一つあります。それは、「日頃の皆さま方からのご支援」です。いただいたご支援の全てを限られた誌面のみではご紹介しきることができずに心苦しく思いますが、子どもたちの元気な姿を通じて、お許しただけると幸いです。(豊本)

鎌倉児童ホームコミュニケーション委員会